



2020年6月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月13日

上場会社名 株式会社イデアインターナショナル
 コード番号 3140 URL <http://www.idea-in.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森 正人
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営情報部長 (氏名) 松原 元成

TEL 03-5446-9505

四半期報告書提出予定日 2019年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期第1四半期の連結業績(2019年7月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第1四半期	3,842	14.4	57	50.0	43	206.7	8	44.0
2019年6月期第1四半期	3,360		38		14		15	

(注) 包括利益 2020年6月期第1四半期 16百万円 (33.6%) 2019年6月期第1四半期 24百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第1四半期	0.59	
2019年6月期第1四半期	1.05	

(注) 当社は、2018年6月期第1四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年6月期第1四半期の対前年同四半期増減率の記載は行っておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年6月期第1四半期	8,899	4,114	46.2
2019年6月期	8,531	4,155	48.7

(参考) 自己資本 2020年6月期第1四半期 4,114百万円 2019年6月期 4,155百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期		0.00		4.00	4.00
2020年6月期					
2020年6月期(予想)		0.00		4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年6月期の連結業績予想(2019年7月1日～2020年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,900	4.9	650	3.3	450	1.3	250	48.1	17.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年6月期1Q	14,717,350 株	2019年6月期	14,717,350 株
期末自己株式数	2020年6月期1Q	374,715 株	2019年6月期	374,715 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年6月期1Q	14,342,635 株	2019年6月期1Q	14,342,662 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、2019年11月14日に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	
(2) 財政状態に関する説明	
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

2020年6月期第1四半期連結累計期間(2019年7月1日～2019年9月30日)の業績は、前年同期2019年6月期第1四半期累計期間の業績に比べて、売上高は3,842百万円と482百万円の増収と第1四半期としては過去最高となりました。経常利益は43百万円と29百万円の増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益については8百万円と7百万円の減益となりました。

売上高につきましては、キッチン家電を中心としたインテリア商品ブランド「ブルーノ」において、当期も引き続き好調に推移しており、前年同期比122%となりました。主力商品のコンパクトホットプレートにおいて、煮込み料理や鍋料理などに幅広く対応できるオプション商品がホットプレート本体とともに売上を牽引したほか、「毎日ちょっとゆとりを、暮らしをもっとゆたかに。」のコンセプトで今年初めに発売したオーバルホットプレートも前期より好調に推移し、売上を伸ばしました。また、今夏には暑さ対策として世間で流行したポータブルファンも売上の伸張に貢献しました。海外の売上においても「ブルーノ」の好調が続いており、中国ではホットサンドメーカーの販売が好調なことに加え、人気キャラクター「ムーミン」とのコラボレーションモデルのキッチン家電が売上を伸ばしました。香港でも観光地の大型ショッピングモールで「ブルーノ」の売り場を拡大するなど販売は好調で、海外における売上は前年同期比174%と大きく伸張しました。

トラベル商品ブランド「ミレスト」においても、防水性能に優れたバッグなどの限定商品が売上に貢献したほか、自社ホームページやAMAZONなどのEコマースサイトでの売上が増税前の特需もあり前年同期比143%と拡大し、さらなる売上増加の要因となりました。また、子会社の株式会社シカタもバッグ商品のOEM販売を中心に売上が堅調に推移し、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,842百万円となりました。

利益につきましては、前述の通り「ブルーノ」の売上が拡大、また株式会社シカタの利益が加わったことにより、営業利益は57百万円となりました。経常利益は43百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益については8百万円となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

住関連ライフスタイル商品製造卸売事業においては、前述の通りキッチン家電を中心としたインテリア商品ブランド「ブルーノ」等自社商品ブランドが、主力商品のコンパクトホットプレートで売上を牽引したほか、オーバルホットプレートやポータブルファンなど顧客の多様なニーズに応える商品が販売を拡大し、国内、海外ともに売上を大きく伸張しました。また、子会社の株式会社シカタのバッグ商品の売上も堅調に推移し、売上高は2,299百万円、営業利益は247百万円となりました。

住関連ライフスタイル商品小売事業においては、特にEコマースでの販売が好調で、配送リードタイムの短縮など利便性改善の結果、リピート顧客が年々増加していること等に加え、増税前の特需もあり、前年同期比189%と大きく伸張しました。さらに株式会社シカタの小売売上も堅調に推移し、売上高1,531百万円、営業利益は59百万円となりました。

デザイン事業においては、売上高11百万円、営業利益は11百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産の残高は、8,899百万円(前事業年度末は8,531百万円)となり、367百万円増加しました。

流動資産は、6,808百万円(前事業年度末は6,410百万円)となり、398百万円増加しました。これは借入金の追加等による現預金の増加(344百万円)、売掛債権の増加(54百万円)および商品及び製品の減少(110百万円)があったことによるものであります。

固定資産は、2,083百万円(前事業年度末は2,112百万円)となり、28百万円減少しました。これは有形固定資産の減少(5百万円)と、投資その他の資産の減少(22百万円)があったことによるものです。

流動負債は、3,394百万円（前事業年度末は2,822百万円）となり、572百万円増加しました。これは短期借入金等の増加（709百万円）および未払法人税等の減少（66百万円）があったことによるものであります。

固定負債は、1,390百万円（前事業年度末は1,554百万円）となり、163百万円減少しました。これは長期借入金の減少（138百万円）があったことによるものであります。

純資産は、4,114百万円（前事業年度末は4,155百万円）となり、41百万円減少しました。これは利益剰余金の減少（48百万円）および評価・換算差額等の増加（7百万円）があったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2019年8月8日の決算短信で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	785	1,130
受取手形及び売掛金	1,755	1,810
商品及び製品	2,819	2,708
その他	1,057	1,166
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	6,410	6,808
固定資産		
有形固定資産	756	751
無形固定資産		
のれん	628	610
その他	90	107
無形固定資産合計	718	717
投資その他の資産	636	613
固定資産合計	2,112	2,083
繰延資産	9	6
資産合計	8,531	8,899
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	901	929
短期借入金	582	1,291
1年内返済予定の長期借入金	589	562
引当金	89	80
その他	659	529
流動負債合計	2,822	3,394
固定負債		
長期借入金	1,289	1,151
退職給付に係る負債	179	161
引当金	18	19
その他	65	58
固定負債合計	1,554	1,390
負債合計	4,376	4,784

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,509	1,509
資本剰余金	1,818	1,818
利益剰余金	917	868
自己株式	△82	△82
株主資本合計	4,162	4,114
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△5	2
為替換算調整勘定	△2	△2
その他の包括利益累計額合計	△7	0
純資産合計	4,155	4,114
負債純資産合計	8,531	8,899

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2018年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2019年9月30日)
売上高	3,360	3,842
売上原価	2,063	2,356
売上総利益	1,296	1,486
返品調整引当金戻入額	17	13
返品調整引当金繰入額	16	15
差引売上総利益	1,297	1,484
販売費及び一般管理費	1,259	1,427
営業利益	38	57
営業外収益		
為替差益	1	2
その他	2	2
営業外収益合計	3	4
営業外費用		
支払利息	10	7
その他	17	11
営業外費用合計	27	18
経常利益	14	43
特別損失		
固定資産除却損	—	3
工場閉鎖損失	—	9
リコール損失	0	0
特別損失合計	0	12
税金等調整前四半期純利益	14	31
法人税、住民税及び事業税	8	7
法人税等調整額	△9	15
法人税等合計	△0	22
四半期純利益	15	8
親会社株主に帰属する四半期純利益	15	8

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	15	8
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	11	7
為替換算調整勘定	△1	△0
その他の包括利益合計	9	7
四半期包括利益	24	16
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	24	16

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。